

ESG データブック
2024

CONTENTS

トクラスESGデータブックは、トクラスグループのESGに関する情報を、トクラスレポート2024-2025を補完する形で掲載したツールです。本レポートは正確な情報を掲載するよう努めていますが、誤りがあった場合は修正を行う場合があります。

環境	Environment	環境方針	3
		環境推進組織	4
		環境推進委員会の活動目的	4
		ISO14001環境マネジメントシステムの維持向上	5
		内部監査	5
		気候変動への取り組み	6
		資源循環（3R+Renewable）への取り組み	7
		水使用量削減への取り組み	7
		化学物質削減への取り組み	8
		緊急時対応訓練	8
社会	Social	雇用状況	10
		ダイバーシティ・ワークライフバランス	10
		人材育成	11
		労働安全衛生	12
ガバナンス	Governance	サステナビリティ基本方針	14
		トクラスのマテリアリティ	15
		クリエイティブポリシー	16
		ものづくりポリシー	17
		取締役会の実施および出席状況	18
		社内規定の新設・改定・廃止	18

環境データ

Environment

企業としての環境への取り組みは、持続可能な社会の実現に不可欠であり、事業と一体となった活動が求められています。当社はISO14001に基づいた環境マネジメントシステムを2001年から構築し、環境目標及び実行計画の設定・進捗管理・是正処置のP D C Aサイクルを回すことで、事業成長とともに継続的な環境負荷低減へ取り組んでいます。

ESGデータブックでは、トクラスの環境方針・環境推進組織・気候変動や資源循環への取り組み・化学物質や水使用量削減への取り組み・緊急時対応訓練について掲載します。

環境データ

トクラス株式会社 本社事業所
トクラスプロダクツ株式会社

環境方針

<理念>

私たちは、環境への取組みが人類共通の課題であることを認識し、「育てよう、豊かな自然とすみよいくらし」をスローガンに、環境マネジメント活動に取り組みます。

<方針>

1. 住設機器製造に係る環境影響を認識し、環境目標を定め、定期的にこれを見直し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境パフォーマンスを向上させるため、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
2. 環境関連法規、その他の要求事項を遵守するとともに、自主管理基準を定め維持管理に努めます。
3. 事業活動が与える環境影響を考え、技術的・経済的に可能な範囲で、環境保護活動を推進します。
 - (1) 地球温暖化防止のための省資源、省エネルギーを推進し、温室効果ガスの排出量を抑制します。
 - (2) 環境に影響を与える有害化学物質の削減に努めます。
 - (3) 循環型社会に対応するため、廃棄物の削減、再資源化に努めます。
 - (4) 環境に配慮した環境負荷の少ない製品設計及び生産に努めます。
4. 社員又は当事業所のために働くすべての人の活動への理解と意識の向上を図り、全員で維持・向上に努めます。
5. 環境方針は社内外に開示します。

以上の「環境方針」を定め、環境マネジメント活動を実施します。

制定 2001年 4月 1日
改定 2021年 2月 1日

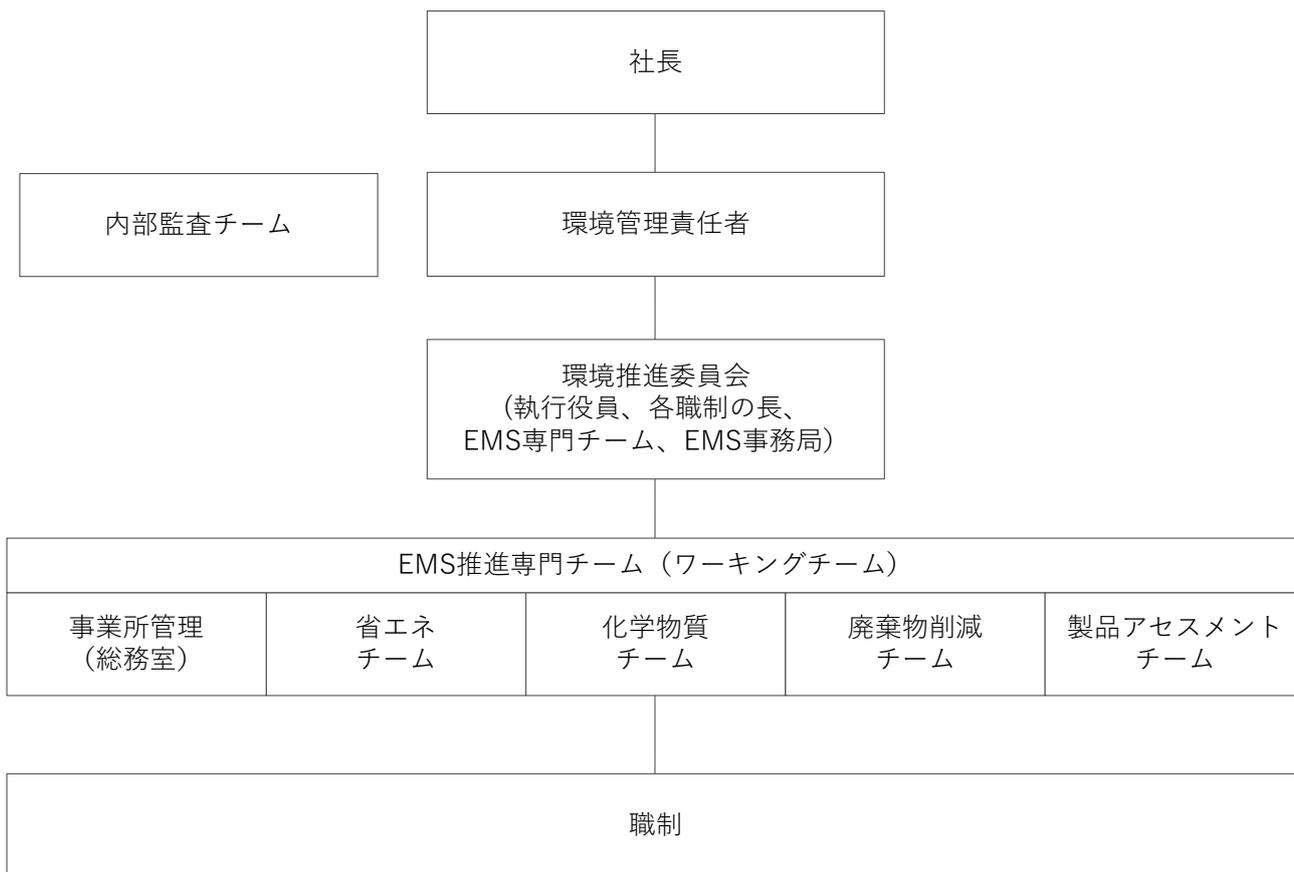
トクラス株式会社
代表取締役社長

小泉和弘

環境データ

環境推進組織

環境推進組織は全社委員会の「環境推進委員会」を最上位組織として、ISO14001に基づいたマネジメントシステムを構築し、製品のライフサイクルを通じた環境負荷の低減に取り組んでいます。



環境推進委員会の活動目的

持続可能な社会をめざし、環境関連法令の遵守と環境汚染防止のために、全社環境方針、環境に関する重点課題の審議を通して合意形成を図ることを目的としています。

また環境マネジメントシステム (EMS) をベースに各ワーキングチームの環境負荷低減活動を主導するとともに、目標の進捗確認や環境に関する情報交換を実施しています。

- ・環境推進委員会 開催頻度 : 1回/月
- ・各EMS推進専門チーム会議 : 1回/月

環境データ

ISO14001 環境マネジメントシステムの維持向上

2001年12月からISO14001の認証を取得し、環境マネジメントシステムを確立してきましたが、更なる環境への取り組み向上を図るため、2016年11月より自己適合宣言へ切り替えました。ISO14001への適合性については、第三者評価を受けることで担保しています。

 <p>環境マネジメントシステム No.20231115</p> <h3>自己適合宣言書</h3> <p>トクラス株式会社 トクラスプロダクツ株式会社</p> <p>〒432-8001 静岡県浜松市西区西山町1370番地 適用規格： JIS Q 14001:2015 (ISO14001:2015) 適用範囲： 住宅設備の企画、設計・開発、製造、取付設置及びサービス</p> <p>当社は、SOMPOLリスクマネジメント株式会社の第三者評価結果報告書 (No.2023-01-01) で報告された内容を根拠とし、自社で構築した環境マネジメントシステムが上記の適用範囲で適用規格に適合していることを、ここに宣言する。</p> <p>宣言日 2023年11月15日</p> <p>トクラス株式会社 トクラスプロダクツ株式会社</p> <p>〒432-8001 静岡県浜松市西区西山町1370番地</p> <p>トクラス(株)代表取締役 小泉和弘 トクラスプロダクツ(株)社長 市川 雅仁</p> <hr/> <p><small>当社は、2001年12月～2016年11月まで第三者認証によりISO14001認証取得継続し、2016年11月より、自己適合宣言を実施しています。</small></p>	<p style="text-align: right;">No.2023-01</p> <p>ISO14001環境マネジメントシステム</p> <h3>自己適合宣言に係る第三者評価証明書</h3> <p>トクラス株式会社 トクラスプロダクツ株式会社</p> <p>〒432-8001 静岡県浜松市西区西山町1370番地</p> <p>適用規格： JIS Q 14001 : 2015 (ISO14001 : 2015) 適用範囲： 住宅設備の企画、設計・開発、製造、取付設置及びサービス</p> <p>貴社の上記適用範囲における環境マネジメントシステムの運用について、ISO14001規格の自己適合宣言に係る第三者評価を、実地確認、ヒアリング、文書類確認により実施したことを本書にて証明いたします。 なお、第三者評価結果の詳細は、別記の監査報告書 (No.2023-01-01) に示します。</p> <p><small>※本書は、ISO14001認証および環境マネジメントシステムの有効性を保証するものではありません。</small></p> <p>第三者評価実施時期：2023年10月25日～2023年10月26日</p> <hr/> <p>発行日：2023年11月6日</p> <p>SOMPOLリスクマネジメント株式会社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-24-1エステック情報ビル</p>  <p><small>この証明書は、SOMPOLリスクマネジメント株式会社の管理下において要求があった場合返却するものとします。</small></p>
--	---

内部監査

EMSの内部監査は、職制に対してはQMS（品質マネジメントシステム）と統合した監査を年2回実施しています。職制への監査とは別にEMS専門チーム間での相互内部監査を年1回実施しており、自浄作用を高めるよう努めています。

当社の内部監査員は、外部のISO研修を受講することで監査員資格を付与します。2024年10月現在で30名の有資格者が在席していますが、毎年、内部監査員は計画的に増員しています。内部監査の内容は、年1回実施するマネジメントレビューの中で社長へ報告しています。

環境データ

気候変動への取り組み

トクラスグループは気候変動を重要な課題であると認識しています。

社会全体で取り組む脱炭素への貢献のため、科学的根拠に基づいたGHG（温室効果ガス）削減目標を設定し、2024年3月14日にSBTi（SBTイニシアチブ）から承認を受けました。

事業所から排出されるGHGについては、BCPや中長期の生産体制も考慮した計画的な省エネ・創エネ・再エネへの取り組みを開始し、順調な削減ができています。商品ライフサイクルにおけるGHG削減については、全社で目標を共有し、各部門が協力して省エネ機器の設定や省資源化、及び物流効率や品質の向上により、目標を達成してまいります。

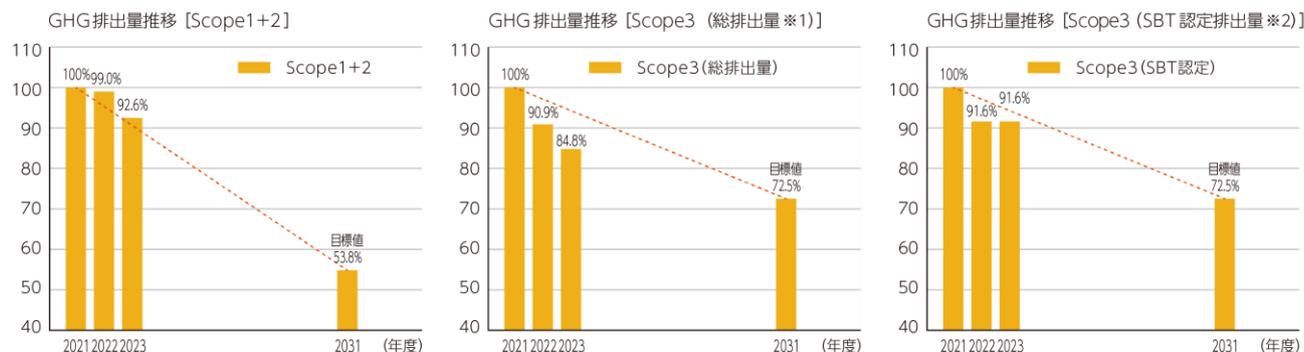
SBTiから承認されたトクラスグループのGHG排出量削減目標

対象項目	削減目標
Scope1：事業者自らによる温室効果ガス直接排出	2021年度を基準年度とし、 2031年度までに46.2%削減する
Scope2：他社から提供された電気熱蒸気の使用に伴う間接排出	
Scope3：Scope2以外の間接排出	2031年度までに、27.5%削減する



SCIENCE
BASED
TARGETS
DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

GHG排出量推移(2021年度を100%とした場合)



※1:すべてのカテゴリーの直接排出量及び間接排出量の合計

※2:カテゴリ1及びカテゴリ11の合計値。カテゴリ11の給湯エネルギー及び水使用に関するGHG排出量は除く。

GHG削減の具体的取り組み例

GHG Scope	GHG削減取り組み例
Scope1	A重油使用停止、製造工程見直し、蒸気削除取り組み、EV/HV車への転換
Scope2	省エネ、高効率設備導入、PPA等再エネ導入、地中熱利用、エア使用量削減
Scope3	
Category1 購入した製品・サービス	原材料使用量の削減、歩留まり向上、品質不具合削減、サステナブル素材への転換
Category4 輸送、配送(上流)	配送率向上、積載率の改善、イレギュラー配送削減、物流品質向上、物流網再編
Category5 事業から出る廃棄物	歩留まり改善、廃棄物の有償化、リサイクル、分別の徹底
Category11 販売した製品の使用	省エネ機器の採用、環境負荷低減商品の設定
Category12 販売した製品の廃棄	省資源化・軽量化、リサイクルの推進

環境データ

資源循環（3R+Renewable）への取り組み

限りある資源の効率的な活用のため、バリューチェーン全体で3R+Renewableに取り組んでいます。年々、事業所から排出される廃棄物量は減少しており、リサイクル率も向上しています。

- ・新商品開発時には原材料使用量削減の目標値を設定し、開発完了時に達成度評価を実施しています。また仕様変更時には、原材料や部品の削減量だけでなく、CO₂削減量についても算定・評価を開始しました。今後はScope3との連動や、CFP（カーボンフットプリント）への取り組みを推進します。
- ・技術開発部門において、バイオプラスチックの適用可能性検討を開始し、環境に配慮した商品開発を進めています。
- ・製造部門では歩留まり向上等、木くずの削減やマテリアルリサイクルに取り組んでおり、廃棄物削減に大きく貢献しています。
- ・近年、重要テーマとして位置付けているのが、商品企画、設計・デザイン、技術開発部門及び製造部門が一体となり、環境の視点も考慮した新商品開発に取り組むことです。2024年6月発売のバスルーム「AXIY（アクシィ）」の標準仕様では、従来品よりも製品重量を14.5kg（4.3%）削減しました。トクラスの強みである「人造大理石技術」と「塗装技術」を最大限に活かした新キッチン扉「リュックファープ」は、2023年度のグッドデザイン賞を受賞しましたが、評価理由のひとつには、廃棄物として発生する人造大理石の粉を塗料に混ぜることで、意匠性や耐久性だけでなく環境にも配慮した点が挙げられます。

(t) 【本事業所からの産業廃棄物排出量の推移】



(%)



L型ランニングソー:木工課での歩留まり向上

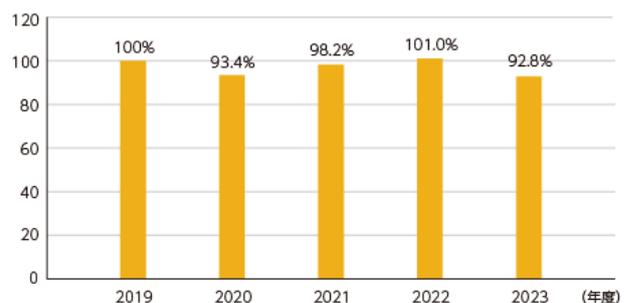


スチロールポスト:浴室生産課でのスタイロフォームのリサイクル化

水使用量削減への取り組み

当社の人造大理石キッチンカウンターやシンクの成形では蒸気を使用しています。また成形後の冷却にも水を使用し、これらはすべて地下水を使用しています。蒸気使用量の削減については、生産工程の見直し、蒸気配管の断熱化、配管からの漏れチェック、ジャストインタイムの送蒸運用等を実施しています。今後は開発部門において、中長期的な視点での水使用量削減に取り組むことで、限りある水資源に対し使用量の削減のみならず、原材料の削減、熱エネルギーの削減、井戸からの汲み上げ時の電力削減等、総合的な環境負荷低減を目指します。

【本事業所 地下水使用量】

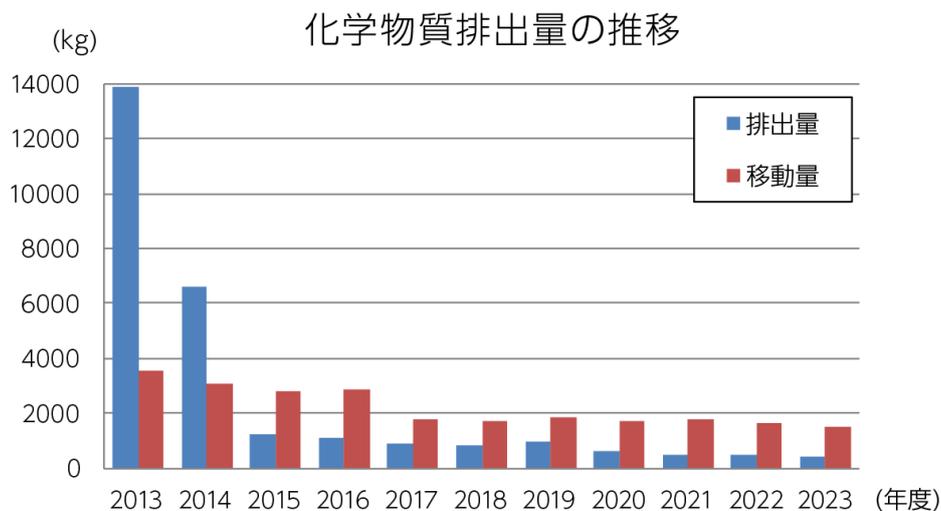


※2019年度を100%とした場合。

環境データ

化学物質削減への取り組み

商品の製造には一定の化学物質が使用されるため、EMS化学物質チームと製造部門が中心となり、化学物質の購入量と製造時使用量のモニタリング、SDS管理、有資格者の配置、化学物質教育等による化学物質管理を実施しています。これらの活動を通して環境法令の遵守、作業者の労働安全衛生、化学物質使用量の削減を推進しています。また製品に含有する化学物質に対しては、法令や各種ガイドラインを考慮した自主基準を定め、バリューチェーン全体での化学物質管理と使用量削減に努めています。



緊急時対応訓練

化学物質を取り扱う職場では、保管、取り扱い、輸送時について、手順書に従い安全に配慮をした業務を行っていますが、万が一、化学物質が漏えいした場合を想定し、対象職場では年に1回、緊急時対応訓練を実施しています。訓練の内容は、手順書の読み合わせ、緊急時連絡ルートの確認、実際に土のうなどを用いた漏洩防止対策及び回収などを行っています。

緊急時対応訓練は他にも、都市ガスの漏えい、高圧ガスの漏えい、集塵機からの火災などについても実施しており、定期的な訓練実施により通常業務における危機意識を向上させることも目的としています。



社会データ

Social

持続可能な社会を実現するために社会全体で解決しなければならない課題は、労働条件や、健康および安全、従業員関係および多様性、地域コミュニティに関連する課題等、多岐にわたります。

トクラスグループでは、さまざまな課題に対して一つひとつ解決に向けて取り組みを進めています。ESGデータブックでは、2023年度の取り組みの中から、雇用状況、ダイバーシティ、ワークライフバランスに関するデータと人材育成、労働安全衛生体制について掲載します。

社会データ

雇用状況

	2021年度	2022年度	2023年度
連結従業員数	958人	938人	933人
従業員数（トクラス単体）	653人	642人	636人
新卒採用数	—	—	16人
中途採用数	15人	19人	24人
女性正社員比率	48.6%	50.5%	51.4%
女性管理職比率	4.8%	5.6%	6.7%
60歳以上従業員雇用率	5.8%	4.8%	5.0%

ダイバーシティ・ワークライフバランス

多様な個性を受け入れ、認め、尊重する企業を目指して、従業員一人ひとりが活躍できるよう、新たな休暇を新設する等、職場環境の整備に取り組んでいます。

	2021年度	2022年度	2023年度
各種休業・休暇取得状況（トクラス単体）			
女性育児休業取得率	100.0%	100.0%	100.0%
男性育児休業取得率	0.0%	67.0%	100.0%
有給休暇取得率	53.0%	58.5%	57.2%
平均有休取得日数	10.2日	11.2日	11.0日
ショールーム土日休暇取得率 (2023年度新設)	—	—	43.6%
ファミリーホリデー取得率 (年度毎に連続2日)	80.5%	86.2%	91.4%
ライフサイクル休暇取得率 (5年毎に連続5日)	83.4%	89.4%	97.7%
就業時間（トクラス単体）			
平均時間外労働/月	11.1時間	9.7時間	10.7時間

社会データ

人材育成

従業員一人ひとりが自律的にキャリアを描き成長できる環境づくりを進めています。組織の活性化と個々の成長を促すことで、トクラスの新たな価値を創造する原動力をつくっていきます。

研修体系図（トクラス単体）

	階層別研修	選抜型研修	ライフ キャリア研修	自己啓発
役員層				
管理職層	マネジメント研修 経営数値財務研修(応用)	基幹人材 育成プログラム	50 歳 キャリア デザイン 研修	セカンド ライフ 準備 セミナー
リーダー層	リーダーシップ研修 経営数値財務研修(基礎)	女性リーダー 育成プログラム		
若手・中堅層		コーチング研修 メンター研修		資格取得 支援制度
3年目 新入社員	キャリアアップ研修 フォローアップ研修 入社後フォロー 5ヵ月・9ヵ月 入社研修			通信教育 制度
		<div style="background-color: #cccccc; width: 20px; height: 10px; display: inline-block;"></div> … 既存研修テーマ <div style="background-color: #e0e0e0; width: 20px; height: 10px; display: inline-block;"></div> … 2023年度新設研修テーマ <div style="background-color: #a0c0c0; width: 20px; height: 10px; display: inline-block;"></div> … 今後新設予定の研修テーマ		

2023年度の取り組み

- ・コーチング研修の新設
- ・新入社員研修体系の再整備
- ・サクセッションプランの策定

今後の取り組み

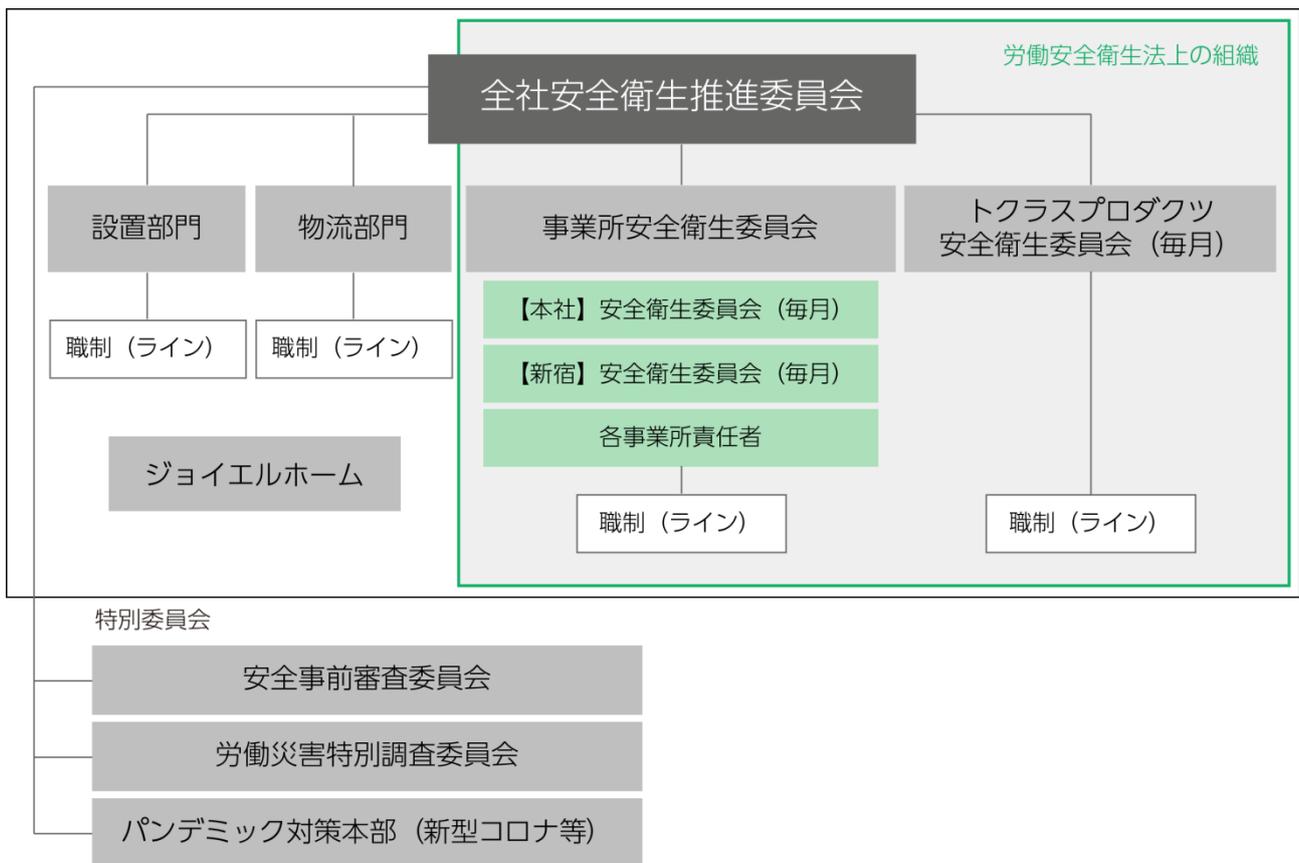
- ・基幹人材育成プログラムの実行
- ・女性リーダー育成プログラムの実行
- ・資格取得支援制度の拡充

社会データ

労働安全衛生

トクラスグループでは2023年度に安全衛生体制を変更・強化し、安全で快適な職場環境の整備を推進しています。安全衛生計画では、「労働安全・交通安全」「健康づくり」「設置部門」「物流部門」の4項目について、それぞれテーマを設定し活動しています。

トクラスグループ安全衛生体制



2023年度の取り組み

- ・安全衛生体制の変更、強化を実施（設置・物流・ジョイエルホームを対象に追加）
- ・安全パトロール実施 12回
- ・安全衛生チェック実施（職場巡視） 13拠点

今後の取り組み

- ・＜労働安全・交通安全＞ ゼロ災達成に向けた取り組みの継続
- ・＜健康づくり＞ 産業保健体制の見直し、強化
- ・＜設置部門＞ 労災ゼロに向けた熱中症対策等の強化
- ・＜物流部門＞ 物流品質安全会議を中心とした取り組みの継続

ガバナンスデータ

Governance

コーポレート・ガバナンスとは、明確で透明性のある、ぶれることのない企業の意思決定の原理であると考えます。また、ESGにおける環境や社会の諸課題に対処する上での大前提として健全なガバナンスが位置づけられます。

当社では、企業理念を頂点とする理念体系（トクラスレポートP7,8に掲載）を設定しており、ESGデータブックでは2023年から2024年にかけて制定した、いくつかの方針、ポリシー等を紹介します。また、ガバナンスの要となる取締役会における役員の出席率と内部統制の基本となる社内規程の整備状況を掲載します。

ガバナンスデータ

サステナビリティ基本方針

当社は、これまで多様性や脱炭素社会実現に向けた活動を実施し、またビジョン達成に向けたマテリアリティの特定など、持続可能な社会の実現への取り組みを行ってまいりました。一方、従来これらの活動が部門主体の活動となっていたため、この度、トクラスグループのESGの指針となるサステナビリティ基本方針を設定しました。併せて、「サステナビリティ実現のための6つの要素」を抽出しています。

トクラスグループは、“お客様の「まいにち」と暮らす。”の企業理念のもと、お客様の豊かで幸せな暮らしの実現のために新たな価値を創造し続けることが持続可能な社会の実現につながると考えています。

その実現のために、サステナビリティ活動に取り組み、倫理的な企業運営及び、公正・健全なサプライチェーンを構築することで、企業価値を向上します。

サステナビリティ実現のための6つの要素

お客様への価値提供

高品質で安心な商品やサービスを通じて新たな価値を提供し、お客様の豊かで幸せな暮らしの実現を目指します。

人権

あらゆる差別を認めず、自社のみならずサプライチェーン全体の人権を尊重します。

環境

事業活動における環境負荷を低減し、地球環境の保全のため脱炭素や資源循環に取り組みます。

人材

従業員の多様性を尊重し公平な処遇を実現するとともに、一人ひとりが能力を発揮できる安全で働きやすい職場環境をつくります。

ステークホルダー エンゲージメント

適切な情報開示と誠実な対話を通じて、あらゆるステークホルダーの皆様と価値を共創します。

ガバナンス

コーポレートガバナンス体制の強化に加え、コンプライアンス、リスクマネジメントを徹底し健全な事業活動を行います。

ガバナンスデータ

トクラスのマテリアリティ

当社は、TOCLAS VISION 2031を達成するために解決すべき社会課題について、ステークホルダーにとっての重要度と自社にとっての重要度から標準偏差の高い課題を抽出し、マテリアリティとして特定しています。

地球環境の保全と負荷軽減

環境法規制の遵守を基本とし、脱炭素にむけたCO₂削減へ取り組みます。また限りある資源の有効活用として、製品に使用する原材料の削減や再生材の使用、製造時の水資源の削減や歩留まり向上及びリサイクルの推進など、サプライチェーン全体で環境負荷を低減しながら事業を推進します。

ユーザーの視点に立った製品・サービスの開発

これまで培ってきた技術力をさらに進化させることはもちろん、ユーザーとつながり続けることから得られるくらしのニーズに迅速に対応し、顧客接点を含むパートナーとの価値共創や研究開発、技術革新により新たな価値を創出していきます。真に求められるものを追求することで差別化を実現するとともに顧客満足の上に取り組みます

信頼に応える品質の維持・向上

従来から高い評価をいただいていた品質は当社の強みです。時代に沿って変化する要求品質を的確に捉え、全てのプロセス及びサプライチェーン全体でQCD向上に取り組み、高品質かつ安全な商品を安定的に供給できる体制を構築します。

多様な人材の育成と働きやすい環境の整備

優秀な人材の確保・育成や、仕事と生活の調和が取れる労働条件の整備、差別・ハラスメントの排除等に加え、自主性を尊重しキャリア形成を意識した成長の機会を与えることで、従業員が健康で、生き生きと働くことのできる職場環境の実現を目指します。

事業を支えるガバナンス体制の強化

ガバナンスを強化し、安定的な事業運営を行うことで社会やユーザーからの信頼維持・向上に努めます。個人情報流出等、想定されるリスクについても特定し、適切な対処・防止策を講じます。また、内部統制の観点から取締役会等の実効性を評価し改善を進めるとともに、ガバナンスの基盤となる社内規程を適時適切に見直ししています。

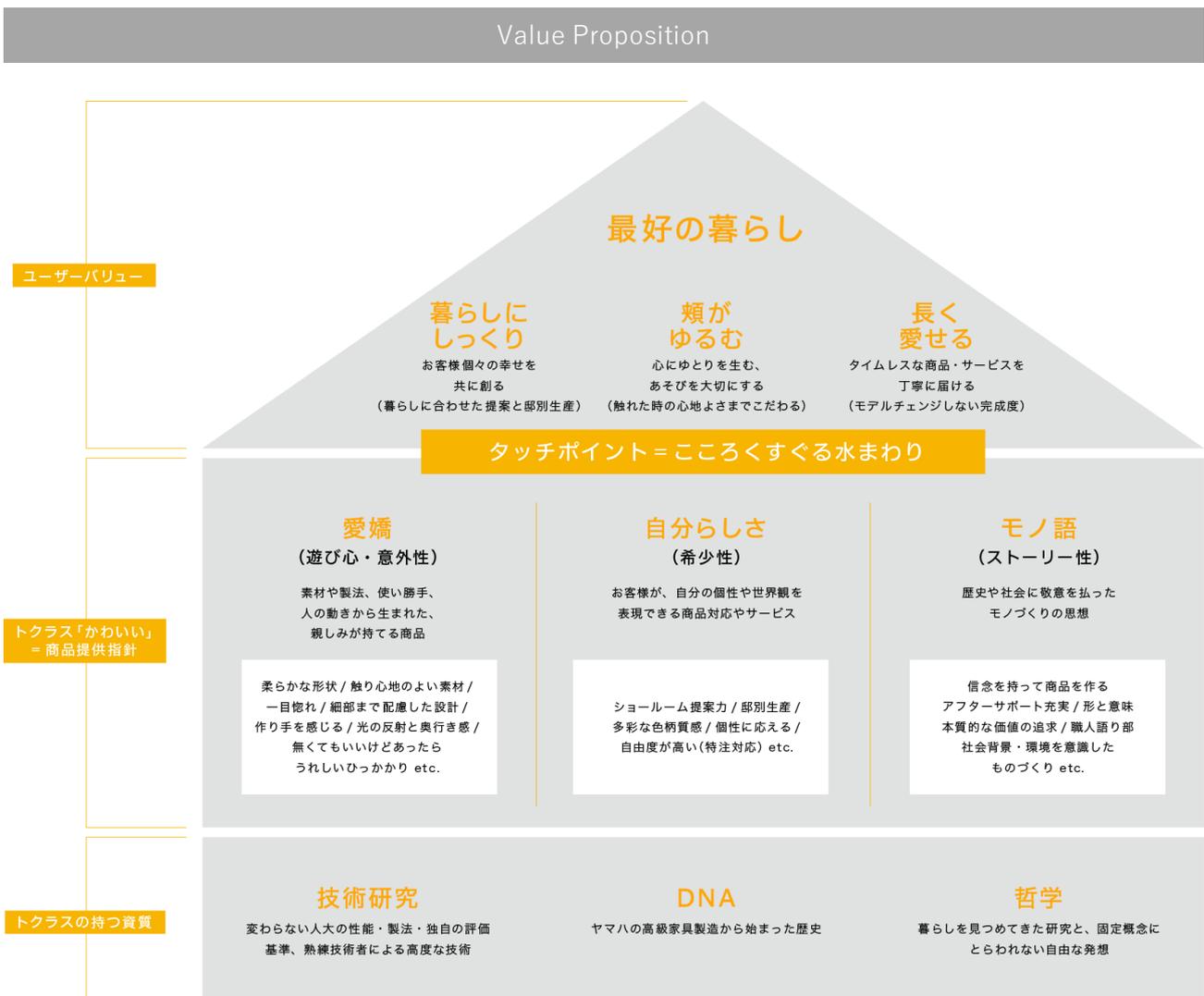
ステークホルダーとの誠実な対話と開示による価値共創

ステークホルダーそれぞれの意見や期待を受け止める対話、適切な情報開示を通じ、ステークホルダーと共に価値を共創し、提供し続ける企業を目指します。虚偽や隠ぺいなく正しい情報を正しい方法で積極的に発信し、ユーザーやパートナーに選んでもらえる会社を目指します。

ガバナンスデータ

クリエイティブポリシー

ブランドとは、あらゆるステークホルダーとのタッチポイントにおいて、その核となる価値を、言語・非言語を通じ、一貫して発信し、積み重ねることで、初めて“価値”として想起され、世界観として認識されるものであると考えます。そこで、一貫性のあるコミュニケーションのためにはトクラスがどのような価値を有するブランドであるか意識を揃えておくことが重要であり、クリエイティブポリシーは、その基礎となる指針です。当社ではその中核となる提供価値（Value Proposition）を以下のように考えています。



ユーザーバリュー

「最高の暮らし」がもたらす、トクラスならではの価値を定義

商品提供指針 “トクラス「かわいい」”

“トクラス「かわいい」”は表層的なものではなく、メーカーとして提供したい商品・サービスの指針

トクラスのもつ資質

家の土台（基礎の部分）となる、技術研究やDNA、哲学

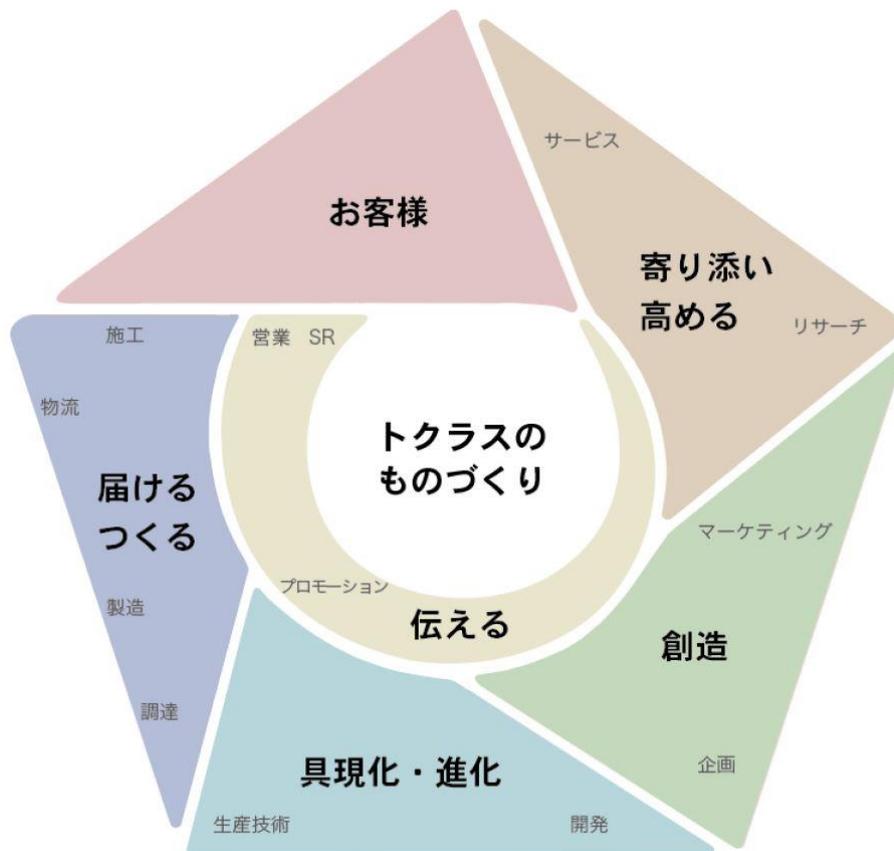
ガバナンスデータ

ものづくりポリシー

当社は、ビジョンの達成に向け、軸をぶらさず脈々と受け継ぐことを目的に、全社員一人ひとりができることを「ものづくりポリシー」として規定しています。

これは、トクラスのものづくりに対する信条的で不変的に持ち続けられる“軸”であり、社員が日々の業務で立ち止まった時やアイデアを考える時の道しるべ、あるいは参考となる手引きとなっています。

「お客様」と「トクラスのものづくり」と「私たち(=社員)」の関係



お客様の最高の暮らしを実現するために

我々は、お客様の「まいにち」と共に歩み、長く寄り添い続ける商品を提供する者として、お客様と交わる全てのシーンで、心から信頼されるパートナーであり続けることが求められています。お客様の「最高の暮らしをかなえる」ためには、ハード（商品）だけでなく、ソフト（提案、接客等）も含めて提供していく必要があります。社員一人ひとりが『お客様のために自分にできることは何か?』と思考を巡らせ、行動し続けることがとても重要だと考えています。

ガバナンスデータ

取締役会の実施および出席状況

企業における最高経営意思決定機関である取締役会は、コーポレートガバナンスにおいて最も重要な会議体と言えます。ボードメンバー全員参加を原則とする中、Web会議を併用することで、出席率を高める工夫をしています。

- ・ 2023年度取締役会実施回数：13回（定時12回、臨時1回）
- ・ 出席率

社内取締役(3名)	社外取締役(3名)	社内(常勤)監査役(1名)	社外監査役 (1名)
100.0%	97.4%	100.0%	100.0%

社内規程の新設・改定・廃止

社内規程は内部統制の目的を達成し基本的要素を確保するための構成要素です。当社では、定期的な見直しの他、事業運営に合わせて適宜、新設・改定・廃止を行っています。

2023年度の社内規程の新設・改定・廃止 状況

◇監査役監査基準	改定（6月）
◇権限規程、及び権限表	改定（6月、10月）
◇組織規程	改定（6月、7月）
◇組織規程別表・組織ランク別職制表	改定（6月、1月）
◇規程等管理規程別表・部門名読み替え表	改定（6月、9月、1月）
◇経営会議規程	改定（6月）
◇会議実施要領	改定（6月）
◇業務分掌規程	改定（7月、9月、1月）
◇リスク管理規程	改定（6月）
◇企画申請細則	改定（10月）
◇会計処理基準書	改定（10月）
◇団体会費管理規程	改定（6月）
◇防災管理規程	改定（6月）
◇安全衛生管理規程	改定（11月）
◇ストレスチェック実施規程	改定（9月）
◇車両管理細則	改定（9月）
◇規程等管理規程 別表・社内規程一覧表	改定（規程改定時に都度改定）

※2023年度については、新設・廃止は0件

 **TOCLAS**

